

# 価値創造を実現する事業戦略

## At a Glance -5つの事業セグメント(川上から川下まで)-

当社グループの事業は5つのセグメントから構成されており、産業の基礎素材となる基礎化学品から一般消費者向けの最終製品まで幅広い製品を提供しています。川上から川下まで多岐にわたる製品群を有することから、景気の変動に影響されにくいバランスの良い事業構造を築いています。

### 基幹化学品事業 P42

#### 無機化学品

- カセイソーダ
- 塩素
- 次亜塩素酸ソーダ

#### 工業ガス

- 酸素
- 窒素
- アルゴン

#### アクリルモノマー

- アクリル酸
- アクリル酸エステル

### 高機能材料事業 P48

#### 高純度化技術・新製品開発

- 高純度液化塩化水素、高純度カセイカリ  
…半導体ウエハー向け
- 無機機能材料  
…イオン捕捉剤、抗菌剤
- メディカルケア  
…医療用接着材料



### ポリマー・オリゴマー事業 P44

#### 合成・重合技術

- アクリルポリマー  
…リチウムイオン電池用、化粧品・医薬分野向け
- 光硬化型樹脂  
…半導体、基板向け
- 高分子凝集剤  
…汚水処理用薬剤
- セルロースナノファイバー



### 接着材料事業 P46

#### 配合設計技術

- 車載電池用接着剤
- 電子材料用接着剤
- 光硬化型接着剤

#### マーケティング・ブランド力

- アロンアルファ



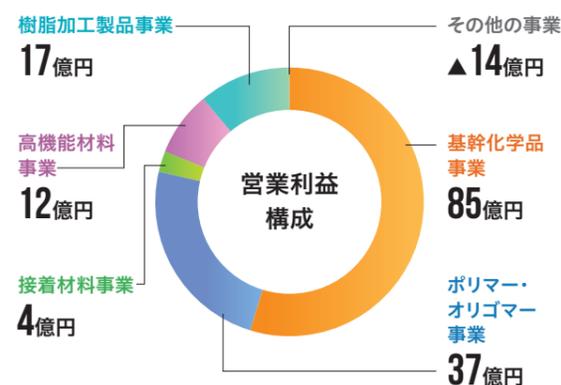
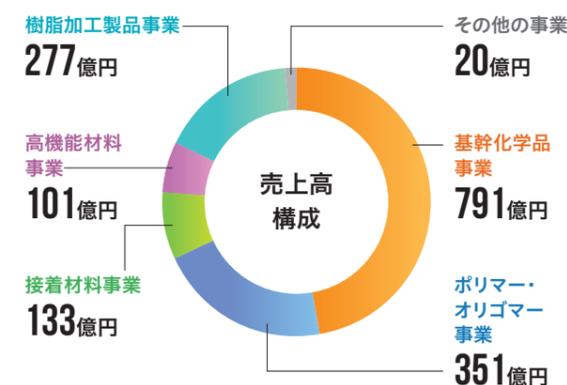
### 樹脂加工製品事業 P50

#### 加工・成型技術

- 洪水浸水・耐震防災・老朽化分野向け災害対策製品およびシステム
- 介護用品「安寿」シリーズ
- 自動車用シール材



## 収益構造(2024年実績・事業セグメント別)



## トップシェア製品



**半導体製造工程で使用されるクリーニングガス**  
半導体をはじめとする電子材料の洗浄やエッチングなどに使用されています。



**高品位次亜塩素酸ソーダ**  
高い安全性が求められる水道水やプールなどの水の滅菌に利用されています。



**光硬化型樹脂**  
スマートフォンの内部部品および表面コーティング、カラーレジストの内部部品などに用いられています。



**介護用ポータブルトイレ**  
トイレまでの移動が難しい場合にベッドの近くに設置する可搬型トイレとして利用されています。



**家庭用瞬間接着剤「アロンアルファ」**  
瞬間接着剤の代名詞として、1971年の発売から長きにわたり皆様に親しまれています。



**塩化ビニル製マス・マンホール**  
トイレなど建物から出た汚水や雨水を処理場や河川まで搬送する排水管路で使用される、点検・清掃のための蓋が設けられた構造物です。

## 未来を切り拓く成長ドライバー

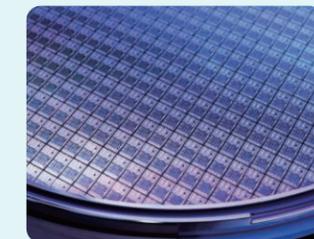
### モビリティ P22

車載電池用接着剤やリチウムイオン電池用バインダーをはじめ、多くの製品が自動車に採用されています。FCV(燃料電池車)からHV(ハイブリッド車)、EV(電気自動車)、ガソリン車、ディーゼル車と全方位に展開している点が当社の強みであり、特徴です。



### 半導体 P23

高品位ウエハー製造用の高純度液化塩化水素は、世界シェアNo.1の位置付けにあります。将来を見据えた供給体制の拡充、微細化に対応した高純度化や新規開発を進め、半導体分野におけるさらなるシェア拡大を進めていきます。



### メディカルケア P33,38,39

次期成長ドライバーとして、歯科向け止血材「アロンキア」を製造販売しています。さらに、従来の方法では薬剤が届きにくい臓器や細胞の核に必要な量を届けるDDS(ドラッグデリバリーシステム)用の細胞膜透過性ペプチド「ヌクレオロン」など医療分野での製品開発に注力しています。



## PICK UP

### ■ナノ医療イノベーションセンターとsiRNA医薬の共同研究開始 P23

2025年5月、乳がんの中で最も進行性で予後も悪く、ホルモン療法やHER2分子標的薬が効かないトリプルネガティブ乳がんに対する新たな治療用siRNA医薬創製に関する共同研究を公益財団法人川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンターと開始しました。

### ■疎水性セルロースナノファイバー(CNF)の開発 P33

2024年、当社はCNF「アロンフィプロ」の疎水化に成功しました。樹脂やゴムなどにも容易に分散できるため、ハードコート材や接着剤などの用途への展開が期待されます。繊維長が可視光波長よりも短い3~10nmであるため分散液は透明で、光学製品への適用も期待されます(新エネルギー・技術総合開発機構(NEDO)助成事業)。



価値創造を実現する事業戦略

# 基幹化学品事業

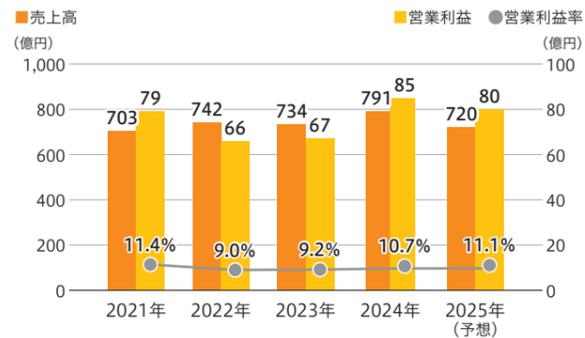
## 事業概要

各種産業や社会インフラに必要な化学品を取り扱っています。様々な分野に原料となる製品を供給するとともに、グループ内の事業、特に高付加価値製品の原料を供給する機能も担っています。

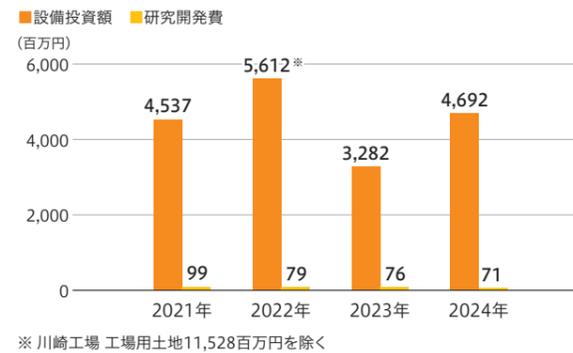
- ▶ **無機化学品事業**：電解関連製品（カセイソーダ、カセイカリ、塩素、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、亜硫酸ソーダ、酸化銅など）と、硫酸・アグロ製品（硫酸、重炭酸カリなど）。
- ▶ **アクリルモノマー事業**：アクリル製品（アクリル酸、アクリル酸エステルなど）と、化成品（ATBS：アクリルアミドターシャールブチルスルホン酸、エチレンカーボネートなど）。
- ▶ **工業用ガス事業**：酸素、窒素、アルゴンなど多種にわたる産業ガス。



### ◆ 本セグメントの売上高・営業利益推移



### ◆ 設備投資額・研究開発費



## 2024年度 レビュー

2024年は、日本経済の緩やかな回復に伴い各種産業向けの需要にも回復傾向が見られました。また、前半には同業他社の定修やプラントトラブルなどが集中し一時的に国内需給が逼迫しましたが、中長期計画に沿って設備増強、更新、保全を実施してきたことも奏功し、需要増に対応した出荷を行い販売数量は増加しました。

このほか、環境・SDGsの観点より、エネルギー多消費設備である電解設備について、高効率・省エネ設備への更新を決定しました。また、閉鎖循環式陸上養殖の大規模プロジェクトに参画、資本参加しました。現在、同用途向けに各種無機薬品の供給準備を進めています。

## 強み・課題・成長の機会

	無機化学品事業	アクリルモノマー事業
<b>強み</b>	電解設備を東・中・西3拠点に有し、地産地消とBCP対応が可能／高純度化技術によるJWWA特級グレード次亜塩素酸ソーダを全国展開	高効率、高品質を両立する生産体制／ATBSの高い重合技術による品質優位性
<b>課題</b>	最新技術の横展開には、工場が分散しているため投資金額がかさむ	汎用品市場で海外勢との競争が激化するため、コスト低減や差別化による競争力強化が必要
<b>成長の機会</b>	電子材料等最先端分野向けや環境配慮型化学品の需要が高まり、高純度化技術による低不純物グレードの展開が加速	環境配慮型製品の需要が高まり、バイオマス・リサイクル原料由来製品の展開が加速

## 中長期的な成長戦略

基幹化学品事業は、産業に不可欠な基礎化学品を安定的に生産・供給していくことが使命ですが、産業界の需給構造の変化を見極め、事業を強化、再編していくことも重要です。顧客やパートナーからの要望に応えるほか、原燃料変更、製法転換、水素有効活用などカーボンニュートラル社会の実現に貢献する事業運営によって将来的な競争力強化に努めていきます。



執行役員  
基幹化学品事業部長  
並木 憲二

### 無機化学品事業

電解事業は、高性能省電力型設備への転換と再生可能電力使用比率の向上を進めるほか、電解で製造する水素を有効活用し、カーボンニュートラル社会へ貢献していきます。また、有害不純物を低減したグレードや、輸送のエネルギー負荷が高い低濃度品の生産・供給体制を整備拡大し、地産地消を進めることで環境負荷低減に貢献していきます。

硫酸事業は、需要拡大が見込まれるリチウムイオン電池や電子材料向けなどの新規需要を取り込むことで安定した操業を確保し、製造時に併産されるスチームを活用し、製造拠点のCO<sub>2</sub>排出削減に貢献していきます。

### アクリルモノマー事業

アクリル事業は、バイオマス由来原料の活用を推進し、カーボンニュートラル対応を目指していきます。アクリルモノマーでは2025年にISCC PLUS認証の取得を完了し、ATBSでも取得準備を開始しています。将来アクリルチェーン下流のポリマー製品などへ拡大していく基礎をつくとともに、ATBSは他社に先駆けた認証取得で差別化を図っていきます。

### 工業用ガス事業

中部・北陸地区に製造拠点を有し、地場の産業に密着した事業活動を通じて、地域のものづくりを支えています。主要販売品目である酸素、窒素、アルゴンは、LNG（液化天然ガス）冷熱を利用して製造しています。

また、中部地区では数少ない高圧ガスローリー容器整備場を保有しており、高圧ガス貯槽設備点検を含めた強化に加え、製品貯槽への液面監視システム導入を進め、検査にかかる環境負荷の低減、製造、配送などの環境に配慮した事業運営を目指します。

## FOCUS TOPICS

### サーモン陸上養殖プロジェクトへの参画

アトランティックサーモンの閉鎖循環式陸上養殖（RAS）で日本最大のプロジェクトを行う「ピュアサーモンジャパン株式会社」（PSJ社）と資本および業務提携しました。当社は、RASの水質浄化に必要な有害不純物をコントロールした薬液を供給します。PSJ社の高度な循環浄水システムと当社の薬液で、環境負荷を低減し、安全で安心な健康的な魚を育てることが可能になります。このプロジェクトを通じて、海洋汚染、食料安全保障といった社会問題の解決に貢献していきます。



PSJ社三重工場（イメージ）



アトランティックサーモン（イメージ）

### 工業用ガス

主力プラントである中部液酸は、製造にLNG冷熱を利用しています。運転開始から45年が経過し、今後は化石燃料の使用削減が進み、LNG冷熱の供給が滞ることも予想されるため、全電気式の深冷空気分離装置への更新を決定しました（2026年11月稼働開始予定）。これからも中部経済圏の発展に必要な産業ガスの安定供給に努めていきます。



価値創造を実現する事業戦略

# ポリマー・オリゴマー事業

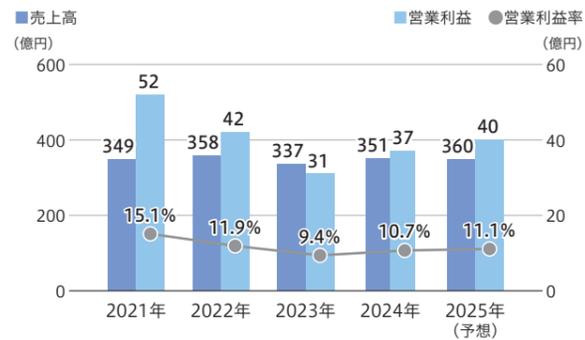
## 事業概要

生活用品から自動車、半導体、電子材料、医薬・化粧品まで、幅広い分野で使用されるアクリル製品を取り扱っています。また、セルロースナノファイバー「アロンフィプロ」の開発にも取り組んでいます。

- ▶ **アクリルポリマー**：モビリティ・電子材料・医薬・化粧品などの注力分野に加え、水処理用薬剤・製紙用顔料分散剤・建築向け接着剤・シーリング材用樹脂など、汎用品から高度に制御された製品まで、国内外の幅広い分野で使用されています。
- ▶ **アクリルオリゴマー**：光硬化型樹脂「アロニックス」は、無溶剤という環境面のメリットがあることから、インキ、塗料、電子材料など幅広い分野で使用されています。
- ▶ **高分子凝集剤**：生活および産業廃水の浄化や製紙などの薬剤として高分子凝集剤が使われています。



### ◆ 本セグメントの売上高・営業利益推移



※ 2025年 (予想) には、セルロースナノファイバーを含む

### ◆ 設備投資額・研究開発費



## 2024年度 レビュー

- ▶ **ポリマー事業**：自動車部品向け製品の販売数量が増加し、増収となりました。リチウムイオン二次電池や医薬・化粧品向け製品の製造設備増強を計画しました。また、高機能半導体用ポリマーの研究開発体制を強化しました。
- ▶ **オリゴマー事業**：国内外ともにディスプレイ製造関連製品が好調に推移しました。原燃料価格は高値圏で推移しましたが、適正な価格は正により増益となりました。今後のAI関連分野の需要増を見据え、日本・台湾・中国3拠点での最適生産体制構築に取り組まれました。
- ▶ **凝集剤事業**：原燃料価格を反映した価格は正に努めるも、中国の景気停滞による輸出減少が影響し、減収となりました。生産体制最適化による競争力強化を着実に推進、汚泥脱水性能に優れた高機能製品を上市し、事業基盤の強化に取り組まれました。また、東南アジアでさらなる事業拡大を図る観点から、ベトナムに現地法人を設立しました。

## 強み・課題・成長の機会

	ポリマー事業	オリゴマー事業	凝集剤事業
<b>強み</b>	高度なカスタマイズ技術(直鎖、分岐、架橋、粒度、分子構造等)と不純物低減技術(残モノ、残溶剤、金属不純物等)により、様々な顧客ニーズに対応可能	光硬化型樹脂「アロニックス」は、多官能アクリレートを軸に、カチオン硬化系のオキセタンもラインアップ	生産性に優れた製造技術と構造制御技術により高品質な製品を提供。粉末・液状品を手掛ける唯一の国内メーカーとして多様な顧客ニーズに対応
<b>課題</b>	グローバルな競争力を高めるための生産拠点の最適化	グローバルに競争できる品質で差別化した製品展開	グローバルに競争できるコスト競争力と高機能製品の拡充
<b>成長の機会</b>	構造制御と高純度化技術を活用した、医薬品、化粧品、半導体分野での応用拡大	エレクトロニクス、半導体、AI分野等での販売拡大	構造制御技術により、水環境分野のエネルギー使用量削減に貢献、食品および医薬品への応用拡大、東南アジアを中心とした水インフラ市場への参入

## 中長期的な成長戦略

ポリマー・オリゴマー事業は、卓越した合成および重合技術を基盤に、長年にわたり蓄積された高純度化技術を融合させた高付加価値製品のラインアップを拡充し続けます。この取組みにより、海外市場での発展を実現し、東亜合成グループ全体の成長戦略の中心的な役割を果たしていきます。



執行役員  
ポリマー・オリゴマー事業部長  
石井 宏明

### ポリマー事業

注力分野である自動車・電子材料・医薬・化粧品を中心に、多様な分野で強く求められる高機能・高純度のポリマーを創出し、市場の期待に応え続けます。

海外では、昨年設立された東亜合成（上海）企業管理や東亜合成タイランドを中心に、現地顧客の多様なニーズに応える製品を展開していきます。

### オリゴマー事業

レジスト剤などの電子材料分野で求められる品質の向上とコスト競争力アップを図ります。

カーボンニュートラル時代への対応として製造時に発生するCO<sub>2</sub>削減の検討を進めると同時に、主原料である各種アルコールのバイオソールアルコールへの変更を進めます。また、アクリル酸においてはマスバランス法への対応を進めます。

海外に関しては、生産拠点のある台湾および中国で、半導体・電子材料分野を中心に現地顧客ニーズに沿った製品開発による高付加価値品の展開に注力します。

### 凝集剤事業

当社グループのMTアクアポリマー株式会社は、高品質の高分子凝集剤「アロンフロック」、「アコフロック」、「ダイヤフロック」により、固液分離や凝集に優れた製品と、多種多様化する用途別に適切なソリューションを提供していきます。

また、新製品開発を通じてカーボンニュートラルなどの社会課題に貢献するとともに、東南アジアを中心とした積極的な海外展開、生産体制最適化によるコスト競争力強化を推進していきます。

## FOCUS TOPICS

### リチウムイオン二次電池用バインダー製造設備増強

当社のリチウムイオン電池の負極用バインダーは、膨張抑制による長寿命化と低抵抗化による急速充電対応に貢献可能な材料です。本製品の製造設備の増強投資が、経済安全保障の観点から、蓄電池などの安定供給確保のための取組みに関する計画（供給確保計画）として経済産業省に認定されました。



名古屋工場内の製造設備



価値創造を実現する事業戦略

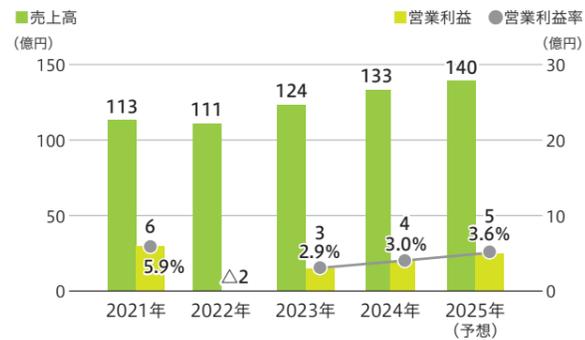
# 接着材料事業

## 事業概要

接着材料事業では、瞬間接着剤の代名詞となっている「アロンアルファ」をはじめ、電子材料・自動車・精密機器分野などでの新たなニーズに応えるべく、様々な高機能接着剤を取り揃えています。特に「アロンアルファ」は、少量、短時間で、加熱などのエネルギーも必要とせず、多くの素材を強固に接着できるという優れた特徴を持っています。“接着”を通じて、各種生産活動における省力化や生産性の向上を図ることで、お客様の技術革新に加え、温暖化ガス排出抑制にも貢献してまいります。



### ◆本セグメントの売上高・営業利益推移



### ◆設備投資額・研究開発費



## 2024年度 レビュー

- ▶ **コンシューマ事業**：「アロンアルファ」の特長をわかりやすく消費者に伝えるため、店頭での製品パンフレットの常備やPOPを導入。各種WEB媒体を利用して動画による使い方の提案も実施し、好評を得ています。2023年に発売し好評評価を得ている「アロンアルファ 光」については、ヘビーユーザーからの声に応え、2024年12月にライトなし品の販売を開始しました。
- ▶ **グローバル事業**：アメリカ、中国、東南アジアでの事業展開に注力しています。アメリカでは瞬間接着剤「Krazy Glue」のほか、各種接着剤やテープなどのKrazyブランドの品揃えを拡大、中国ではeコマースを活用し、特異な使用用途を提案しつつ拡販を図っています。タイでは大手コンビニを中心にホームセンターなどに販路を拡大、フィリピンでも文具、ハードウェアなど多様な販売ルートで拡販につなげています。各国市場に合わせた販売戦略により短期間で実績を上げています。
- ▶ **機能性接着剤事業**：バイポーラ型ニッケル水素電池用接着剤は、採用車種の増加に伴い売上が順調に伸びています。次世代電池向けの開発も計画に基づいて進行しており、実用化に向けて引き続き注力していきます。

## 強み・課題・成長の機会

	コンシューマ事業	グローバル事業	機能性接着剤事業
<b>強み</b>	一般消費者向け瞬間接着剤の世界最長寿ブランドとしてギネス認定を受けた「アロンアルファ」の強いブランド力	米国を中心に瞬間接着剤の代名詞となっている「Krazy Glue」のブランド力	顧客要求に応じて、最適な接着剤をカスタマイズできる技術力
<b>課題</b>	若年層へのブランド認知・浸透	海外販売体制の見直し	海外販売の強化
<b>成長の機会</b>	壊れたモノを補修するという消費者の強い概念に加え、模型やアクセサリなどものづくり用途での使用を提案し市場を拡大	一般消費者向け瞬間接着剤の世界市場は拡大しており、特にアジアの人口増加国での拡販に注力	自動車の電動化や水素社会到来による、次世代電池や周辺部材に使用する接着剤の提案

## 中長期的な成長戦略

コンシューマビジネスでは、新製品の投入などにより国内での「アロンアルファ」のブランド力をさらに高める一方、海外では、アメリカ、中国での事業を強化、東南アジアやほかの地域にも拡大していきます。工業用ビジネスでは、モビリティ、メディカルケア、電子材料といった成長産業に注力し、革新的な機能性接着剤を創出します。



執行役員  
アロンアルファ事業部長  
佐々木 豊

### コンシューマ事業・グローバル事業

瞬間接着剤のトップランナーとして「アロンアルファ」のブランド力をさらに高めてまいります。「アロンアルファ」という壊れたモノを直すときに使うというイメージが強いですが、SNSなど各種媒体で面白い使用方法を提案しながら、模型・クラフト・アクセサリなどものづくりの場面での利用を提案し、用途の領域拡大を図ります。海外では、北米・南米における「Krazy Glue」のブランド力強化、アジア周辺国での「Aron Alpha」ブランドの拡大によりグローバルに拡販を進めます。

### 機能性接着剤事業

機能性接着剤事業では、独自の分子設計・配合・解析技術を駆使し、他社にはない高機能な付加価値製品を展開しています。成長戦略として、モビリティや電子材料といった成長分野に焦点を当てた開発に注力しています。モビリティ分野では次世代電池用接着剤や車載カメラ・センサー類、車載基板用UVコート材などを、電子材料分野では5Gに対応した高周波基板向けのノイズ吸収シートなどの開発を進めています。

## FOCUS TOPICS

### 各種イベントへの出展

“模型の世界首都”を謳う静岡で、5月に静岡ホビーショー、12月には静岡クリスマスフェスタに出展しました。多くの模型ファンや子供たちに「アロンアルファ」の利用法を紹介したほか、「アロンアルファ 光」の瞬間接着と光硬化の利点を併せ持つ特徴をアピール。「アロンアルファ 光」は昨年12月に「ライトなし」品を発売、ヘビーユーザーに好評を得ています。

### TikTok動画

「アロンアルファ」をテーマとした各種動画をTikTokにアップ、期待を大幅に上回る再生回数を記録しました。これからは普段見られない、「アロンアルファ」の一面を紹介していきます。



※TikTokおよびTikTokロゴは、ByteDance Ltd.またはその関連会社の商標または登録商標です。

### 塗装代替への活用事例

#### 耐熱性粘着剤アロンタックMPT/MFシリーズ

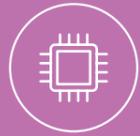
優れた耐熱接着性が評価され、自動車部品への加飾フィルム貼合せ用途で採用されています。さらに、難接着性のプロピレン樹脂 (PP) に適用可能な粘着剤も開発しました。本開発品は、PPに対してプライマーやコロナ処理を行わずに高い接着性を発揮し、耐衝撃樹脂 (ABS、ポリカーボネート)、アクリル樹脂などの異種材料との接着も可能です。



製品外観  
溶液形態:MPT (左)、フィルム形態:MF (右)



加飾フィルム加工イメージ



価値創造を実現する事業戦略

# 高機能材料事業

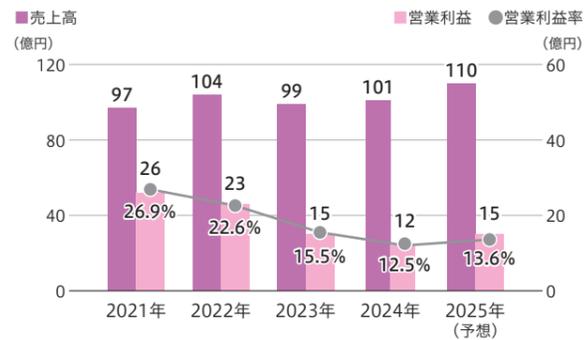
## 事業概要

高機能材料事業は特徴ある素材の機能を追求し、様々な製品群を展開しています。高純度無機化学品は主に半導体向け材料を、無機機能材料は、より快適な生活を実現するための様々な製品を取り扱っています。

- ▶ **高純度無機化学品事業**：半導体の微細化に対応した高純度液化塩化水素・高純度アルカリ製品、六塩化二ケイ素などの半導体成膜材料。
- ▶ **無機機能材料事業**：不純物イオンを捕捉し電子部品の誤作動を抑制する「IXE」、 「IXEPLAS」、繊維・プラスチックなどの素材に消臭・抗菌・抗ウイルスなどの快適機能を付与する「ケスモン」、「ノバロン」などの各種機能性添加剤。
- ▶ **新製品開発**：メディカルケア関連製品の開発。



### ◆ 本セグメントの売上高・営業利益推移



### ◆ 設備投資額・研究開発費



## 2024年度 レビュー

- ▶ **高純度無機化学品事業**：AIの普及が進み、これに関連した一部の需要が半導体全体の需要を牽引しました。また早期に在庫調整を完了したメモリ類の回復を中心に、前年比で増収増益となりました。しかし電気自動車・産業機械などの関連需要は低迷を続け、回復は次年度以降に持ち越される形となりました。今後はスマートフォンやPCへエッジAIの搭載がさらに進み、自動運転やHPC (High Performance Computing) など、社会全体に普及していくと見られます。これら最先端需要への対応として、供給量の拡大に加え、さらに品質向上を進め、他社の追随を許さない強靱な供給体制を構築していきます。
- ▶ **無機機能材料事業**：「IXE」はスマートフォンや電子材料などの成熟した需要に支えられ、堅調な出荷となりました。また、抗菌・抗ウイルス剤のノバロンは一部製品で原料高騰分の価格転嫁が進み、増販となりました。しかし市場拡大を続けてきた消臭剤のケスモンは、海外競合他社との競争が激化し、販売数量が低迷しました。当社では製造工程の合理化を鋭意進め、競争力強化に努めるとともに、技術開発を推し進め、製品の差別化を図っています。

## 強み・課題・成長の機会

	高純度無機化学品事業	無機機能材料事業
<b>強み</b>	積極的な投資推進による安定供給能力／独自開発による高純度化技術と製品開発力	用途に応じた最適化に有効な合成・粒子制御技術(機能、形状、粒子径)／製品機能を発現させるための評価・分析技術とサポート体制
<b>課題</b>	主原料を輸入しているため、為替や国際情勢の影響を受けやすい	抗菌剤に関わる海外法規制対応費用が高く拡販の足かせ
<b>成長の機会</b>	ライフスタイルの変化、各国の半導体サプライチェーン強化政策、技術革新に伴う半導体の用途拡大	アジアなどでの生活水準向上による機能性繊維の市場拡大

## 中長期的な成長戦略

高純度無機化学品は、引き続き安定供給と品質向上を推進していきます。2022年をピークに一時的に需要は低迷しましたが、2025年以降、再び成長軌道に戻ることが期待されます。また政治的な変動リスクが高まりを見せていますが、長期的かつ全方位的な視点で事業運営を進めてまいります。無機機能材料は、BPR (殺生物性) 規制の進展や競合他社の台頭など、既存マーケットでの競争が激化しています。このため常に新しい需要に対応する製品開発が重要となります。新規素材を含めて、新たな開発を加速させていきます。



執行役員  
高機能無機材料事業部長  
田村 篤史

### 高純度無機化学品事業

半導体の製造は大きな変革期を迎えています。これまで以上にAIの存在感が高まり、既に人々の生活を大きく変え始めています。半導体の設計にAIの導入が進み、半導体自体の製造もこれまでにない新規素材の検討が進んでいます。当社製品は既存半導体製造に必須の原料となっていますが、技術革新に追随できなければその製品はやがて陳腐化します。とりわけAIの普及のための最大の課題は省電力・省資源に資する材料の開発です。既存製品の品質向上・供給体制強化に加え、新製品開発を今後の最重要課題として鋭意進めてまいります。

### 無機機能材料事業

AIやペロブスカイト太陽電池などは今後の普及・拡大が期待されており、その際に最も重要なことは誤作動を最小限に抑制することにあります。当社「IXE」は多くの分野で採用が検討されており、陰陽イオンを捕捉するというユニークな特性から、さらに需要が拡大されることが見込まれます。アメニティ分野では競合他社との競争が激化しつつありますが、当社の独自技術を駆使して、微粒子化など様々な差別化製品を生み出しています。

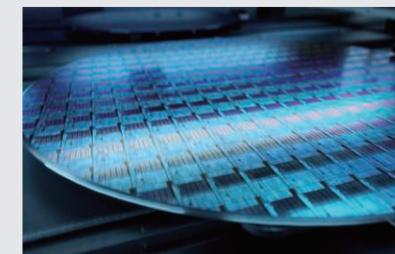
## FOCUS TOPICS

### 液化塩化水素の次世代プロセス開発

半導体の需要拡大および微細化・高集積化に伴う品質要求に対応するために、先進的な製造技術に基づいた設備を現在建設中です。いよいよ2025年には完成を迎え、その後品質評価を進める計画です。

### 新規素材の開発

現在、半導体パッケージの2.5D、3D化が世界的に凄まじい勢いで進んでいます。この分野で重要なのは「熱膨張の抑制」です。当社では長年にわたり負熱膨張材「ウルテア」を販売してきましたが、多くの顧客から既存品を上回る性能が要求されています。これに対応した製品開発を鋭意進めています。



半導体、電子材料製造用途



高純度カセイカリ充填設備

### 高純度カセイカリ充填設備の新設

半導体需要の拡大に対応するため、高純度カセイカリ充填設備を新設しました。品質向上に加え、作業効率の改善および自動化による充填能力の向上を計画しています。2024年に完工し、2025年7月に稼働予定です。



価値創造を実現する事業戦略

# 樹脂加工製品事業

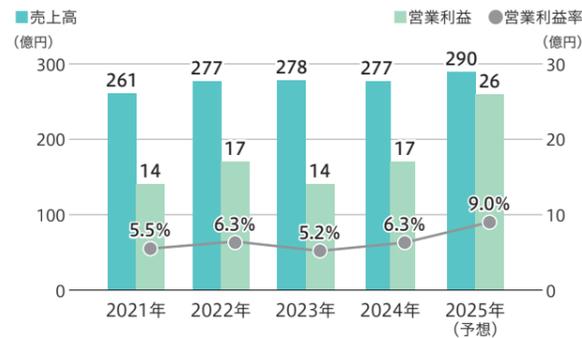
## 事業概要

自然災害リスク、インフラ老朽化、超高齢社会、地球温暖化などの社会課題を解決するための付加価値製品を提供しています。

- ▶ **環境インフラシステム事業**：洪水被害や大規模地震などのリスクや老朽化したインフラの長寿命化などの社会課題に対して有効な対策製品およびシステムを提供。
- ▶ **ライフサポート事業**：福祉用具のリーディングメーカーとして「安寿」ブランドで排泄・入浴・移動歩行関連を中心とした福祉用具を提供。新たに高齢犬向けの製品を提供。
- ▶ **エコマテリアル事業**：リサイクル性に優れた熱可塑性エラストマー材料を自動車・電気電子部品・医療など様々な分野に提供。



### ◆ 本セグメントの売上高・営業利益推移



### ◆ 設備投資額・研究開発費



## 2024年度 レビュー

- ▶ **環境インフラシステム事業**：下水道管路補修用品、災害用トイレ排水システム、雨水貯留浸透システムなどの対策製品およびシステムの展開に注力し、販売が拡大しました。
- ▶ **ライフサポート事業**：コンパクト性が好評の歩行車「リトルターン」シリーズに速度調節機能を搭載した「リトルターンII 抑速プラス」「リトルターンZ 抑速プラス」のラインアップを追加しました。
- ▶ **エコマテリアル事業**：エラストマー材料について、自動車分野の展開に注力し、販売が拡大しました。また、回収した使用済み紙おむつをリサイクルした原料を利用して成形品をつくることに目途がつかしました。

## 強み・課題・成長の機会

	環境インフラシステム事業	ライフサポート事業	エコマテリアル事業
<b>強み</b>	長年のインフラ老朽化製品の開発で培った下水道補修の知識・ノウハウ	超高齢社会の介護需要をキャッチアップする「安寿」のブランド力と開発力	顧客の要求に細かく対応できる配合技術、アジア市場に対応できるタイでの生産販売体制
<b>課題</b>	システムを含めたソリューション提案	高付加価値製品の開発加速	エコ素材全般を対象とした製品群への拡張
<b>成長の機会</b>	国や自治体が主導する国土強靱化計画に基づくインフラ分野の需要拡大	超高齢社会における介護需要の拡大	カーボンニュートラル社会の実現に貢献するリサイクル材料の需要拡大

## 中長期的な成長戦略

樹脂加工製品事業は、東亜合成グループにおいて川下領域を担う事業です。特徴ある素材開発とプラスチック加工技術を武器に、環境インフラや生活サポートの分野において、高付加価値製品の展開、新事業の創出による事業拡大を目指します。社会課題に直結したビジネスユニットに再編します。



執行役員  
アロン化成株式会社 代表取締役社長  
美保 享

### 環境インフラシステム事業

洪水浸水・耐震防災・老朽化分野を拡張します。特に、下水道老朽管の補修に貢献する製品およびシステムの開発に注力します。今後は、システムを含めたソリューション提案を行える開発体制にシフトします。

### ライフサポート事業

「安寿」は福祉用具のトップブランドに成長しましたが、IoT技術を搭載した高付加価値製品の開発など、福祉用具のさらなる進化と社会課題解決への貢献を目指します。また、高齢犬向け製品を展開する事業「OneAid」を拡大していきます。

### エコマテリアル事業

紙おむつリサイクル材の活用などリサイクル可能なエコ素材全般を対象とした製品群へ拡張します。また、エラストマー材料については、自動車分野の拡大に一層注力し、自動運転技術などに用いるセンサーや組み立て作業の省力化につながる製品の開発を進めていきます。

## FOCUS TOPICS

### 紙おむつリサイクル材を活用した製品の開発

回収した使用済み紙おむつのリサイクル材を使用したゴミ収集保管容器「ステーションボックス」を地方自治体に提供しました。紙おむつリサイクル材から成形品をつくる開発が進んでおり、今後様々な用途での展開を見込んでいます。



### 新型歩行車の開発

コンパクトで小回りの良い歩行車「リトルターン」に、歩行能力に応じてキャスターの向きを変更できる3WAYキャスターを搭載したタイプを開発。また、速度調節設定の幅が広がり使いやすくなった抑速タイプもラインアップに追加しました。

